

うたづ議会だより

2013
第48号
11.1



関西宇多津会は、就職や進学のため宇多津から関西に居住した人たちの会です。毎年9月に総会を開き、30人ほどの会員に加え本町からも町長、議員など約10人が参加し、交流を深めています。

Contents

平成25年第3回定例会	2～3
一般質問	4～11
追跡調査	12

特集記事	13・15
視察研修報告・視察来庁	14
元気ななかま・主な議会活動	16

平成25年 第3回定例会



主な内容

平成25年第3回定例会は9月10日から19日まで開催し、認定7件、議案3件、陳情3件を審議しました。認定及び議案は全て原案を可決し、陳情は全て継続審査となりました。また、一般質問は9月11、12日に行い、議論を交わしました。

平成24年度決算

- ・一般会計歳入歳出決算（継続審査）
（歳出 65億8121万円）
- ・国民健康保険特別会計決算
（歳出 14億8538万円）
- ・介護保険特別会計決算
（歳出 8億7859万円）
- ・後期高齢者医療特別会計決算
（歳出 1億5193万円）
- ・下水道事業特別会計決算
（歳出 8億1267万円）
- ・はなの森墓地公苑整備事業特別会計決算
（歳出 990万円）
- ・水道事業会計決算
（費用 3億4826万円）

以上全て全会一致で決算認定

《監査委員の審査意見》納税者に対しては、善良な住民の納税義務感に応えるためにも、日常業務において適切に各課の連携を取り、より一層の徴収率向上に鋭意努力願いたい。業務の遂行に当たっては、常識感覚を持ち、住民の立場に立った効率的で効果的な行政サービスの提供に努めるよう強く要望する。

なお、財政運営全般の健全度は、ここ数年概ね問題のない状況にあるものの、更なる改革の推進に努力を重ねることを切に望むものである。

水道事業は配水量減少に伴う水道使用料金の減収が数年続いております、今後も期待できないことから、料金改定も含めて一層の健全運営に努めること。

補正予算

・平成25年度宇多津町一般会計補正予算（第2号）

（3億1971万円）

全会一致で可決

一般会計補正予算の主な事業内容

- 浜三番丁の土地開発公社所有地を町が購入する費用
- 「今市の家」の電気製品及び家具等の購入費用
- 農地管理費（旧三菱化学社宅上部地区及び津ノ郷地区）
- UTAZUSG（旧F&B良品）運営事業委託料
- 防災ラジオの追加100台購入費用
- 町民体育館のスクリーン新設及び綴帳の修繕費用

・宇多津町職員等の給与の臨時特例に関する条例の制定（要旨）国家公務員の給与減額支給措置を踏まえ、本町の特別職及び一般職の給与について改正する。

町長5／100、副町長4／100、教育長3／100、一般行政職1／100、2.7／100の減額で、25年10月1日から26年3月31日までの措置。

定例会報告

本会議 議員の賛否

○ 賛成 × 反対 欠 欠席（議長は、賛否同数の時のみ可否を決定する）

主 な 審 議 案 件		西本	濱中	柴村	宮本	大松	池田	青木	藍川	井原
認 定	平成24年度宇多津町一般会計歳入歳出決算（継続審議とする）	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成24年度宇多津町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成24年度宇多津町介護保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成24年度宇多津町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成24年度宇多津町下水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成24年度宇多津町はなの森墓地公苑整備事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成24年度宇多津町水道事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	—	○	○
議 案	平成25年度宇多津町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成25年度宇多津町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	宇多津町職員等の給与の臨時特例に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	—	○	○
陳 情	「所得税法第56条の廃止」の意見書採択をもとめる陳情書については継続審査とする	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	道州制導入に反対する意見書については継続審査とする	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書については継続審査とする	○	○	○	○	○	○	—	○	○



柴村 賢三 議員

成年後見制度

成年後見制度の充実と

支援策を求める

説明・周知活動に取り組んでいく

健康増進課長

問 少子高齢化が急速に進んでいる中、知的障害・精神障害・認知症などによって、判断能力がなくなったり、不十分になった人、特に、身寄りのない人に対してどのような公的支援を進めているのか。また、町民への理解や協力活動等はどう

ように取り組んでいるのか。

山下健康増進課長

主に判

断能力が不十分な方々を保護し、支援する公的な制度として、家庭裁判所が後見人を選任し、その後の財産管理や生活支援について全て後見人を通じて行うようにする成年後見制度がある。町では地域包括センターに相談に来られた方には、この制度について詳細に説明している。今後も広報紙をはじめ、パンフレットの配布など周知活動に取り組んでいきたい。

再質問

すでに他の自治体

では住民に理解と協力を得るため「市民後見人養成講座」を開いているが、当町での計画は。

山下健康増進課長

社会保

障の一環として介護保険制度の充実をどのように図っていくのか、国や県などの動向を見極めながら事業展開を考えたい。

火葬場整備

火葬場の駐車場を拡張する計画は

調査の上、拡張を検討／住民生活課長

問 火葬場西側には新十楽寺墓地があり、お彼岸・お盆の時期、ならびに葬儀が重なった場合には、車を駐車することができないことがある。その対策は。

がある。その対策は。

藤原住民生活課長

火葬場

の駐車場は火葬場玄関前に10台程度と火葬場下の町道沿いに30台程度の駐車スペースがある。今年は火葬とお盆が重なり、駐車場が満杯になったこともあった。今後、駐車スペースがどの程度不足しているのか、頻度はどのくらいかについて調査し、まずは状況を把握したい。その結果、駐車スペースの不足がたびたび発生し、利用者に不便をかけているようであれば周辺に確保できる土地を探し、拡張も検討したい。



宮本 隆 議員

庁舎内の防犯対策は

放火時の対策などの検討を／町長

問 まだ記憶に新しいが、7月宝塚市役所で放火事件があった。町の庁舎内にも不特定多数の人が出入りする。庁舎内で多くの職員が仕事をし、住民が出入りしている。

何かあった時の対策マニュアルの策定は。防犯カメラを設置しているか。

谷川町長 何か起きた際の対策マニュアルに当たるものとして、限度を超えるクレームなどの対応フローを平成22年5月に作成している。放火時の対策マニュアルは未作成であり、今後検討していきたい。また、防犯カメラは庁舎に設置していないが、これについては住民のプライバシー保護の観点も考慮して検討する必要がある。

再質問 警報装置の設置や消火器の増設等についてはどうか。

谷川町長 緊急の際の押しボタンは既に設置済みである。消火器の増設について

通学路の改善

宇多津小学校通学路の改善は

現状では通学路の変更は考えていない／教育次長
排水性舗装にすることは難しい／事業統括監

問 平成24年に信号機の所にポールを立て、舗装の改修を行った。しかし1年以上が経過し、再び水溜りができるようにになった。中央線から西側だけでも排水性舗装に改修できないか。

北本事業統括監 県道における排水性舗装については、都市部の道路であること、人家の連なった場所での騒音の状況が環境基準を超えていること、という県の基準が存在する。今回の箇所についてはこの基準に適合しないため現段階では排水性舗装にすることは難しいとの回答である。

再質問 通学路として県道の東側道路への接続路を設け、水路にフェンスを設置できないか。

北本事業統括監 フェンスを取り付ける場合は、水利組合との協議が必要である。

亀井教育次長 現在の通学路におけるこれまでの対策の経緯や実情を踏まえると、通学路の変更は児童生徒に

また通学路の変更も真剣に検討いただきたい。

水路のある通学路



水路のある通学路



大松 喜次郎 議員

英語教育の充実

小中学校が連携して

英語教育の充実を図れ

専任教員の加配を要望／教育次長

問 小学校の英語は音声中心の「話す」活動である。

校で出前授業を実施した。

中学校ではそれ以外に「読む」「書く」が求められ、

平成26年度からは学校における中学校の英語と小学校の外国語活動をより充実

小学校での英語経験が生か

させるため準備している。

されていない。繋げる英語

小学校には英語科の専任教

教育が必要である。連携を

員が不在である。外国語活

しているのか。中学校の先

動の推進には専任教員によ

生が小学校で教えることや、

る指導が必要であると考え

教師の加配なども考えるべ

ているため、県教育委員会

きだ。

へ専任教員の加配を要望し

たい。

亀井教育次長

小中学校の

連携として、昨年度に宇多

津中学校の英語科教員が宇

多津小学校と宇多津北小学

再質問

小中学校の重なり

部分が大きくなるようにし

て欲しいと考える。

町有地売却

町有地の売却及び活用の検討を

現在募集休止、清掃事務所の移転も含めて検討
／総務課特命担当課長

亀井教育次長

中学校の英

た英語を小学校から中学校

語専任教員が兼務により小
学校で指導を行えば、習っ

へスムーズに繋がっていける
ため、十分配慮したい。

問 5月に旧町営新開北団

地の跡地（平山墓地面）の

売却応募をしたが、申し込

みが無かった。今、応募に

関してどのように対処して

いるのか。売却できない場

合には、近くにある町の清

掃事務所の移転もありうる。

売却方法及び他の活用を検

討すべきである。

岡田総務課特命担当課長

当該跡

地では分譲宅地を条件とし

て公募していたが、残念な

がら申し込みはなかった。

造成や消費税の関係などで

分譲宅地の開発には業者の

ほうでも二の足を踏んでい

るようである。そのため、

再質問

全体分譲にこだわ

らない方法もあるのではな

いか。

岡田総務課特命担当課長

区域内

の道路には給排水等の設備

ができていないため、分割

した場合条件の悪いところ

が今度は売れなくなるとい

う懸念があり難しいのでは

ないか。



池田 弘昌 議員

自治会の組織

自治会の組織について

自治会加入対策に力を注ぐ／町長

問 地域の絆を目指したまちづくりのために、町全体でどれくらいの戸数が自治会に加入しているのか。新しく南部や新都市など、転入してきた人達の加入率は。自治会に加入していない家庭には回覧板、広報など県や町の連絡はどのようになっているか。

谷川町長 平成25年4月現在、7715世帯中3007世帯が自治会に加入している。浜一番丁から浜九番丁では3357世帯中384世帯である。自治会が未結成の地域の広報配布は住宅団地、マンション単位でお世話いただける方がいる場合はその方をお願いし、配布している。新都市でお世話いただける方がいない場合は個別配布している。

また、未配布世帯については、町役場、保健センターなどで受け取ることができるよう対応し、ホームページでも掲載している。

再質問 南海トラフ地震に備え避難場所の確認、自分の町の防災組織等、町民としての意識や責任を持つてもらうために加入促進の努力を。

谷川町長 新規の自治会加入対策として、自治会長の直接訪問による勧誘や、広報うたづの自治会だよりによる周知など自治会への加入に力を注いでいる。

青の山の活用

青の山について

案内板や地図を点検・確認

／産業振興課長

問 山頂はたいへん眺めもよく古代からの古墳もあり、体力づくり、ハイキング、散歩と様々な目的に応じて定期的に山を楽しんでいる人も多い。四季折々の山をPRし、健康づくりに里山の良さを大いに活用してはどうか。また案内板及び地図の再確認をしては。

と眺望が有名である。

案内看板の地図や進行方向を示す矢印の表示などは、壊れれば修繕するというスタンスが現状であるが、老朽化が大変進んでいるものも見られる。また地図だけでは分かりづらいとの指摘もあり、一度点検・確認をして、再度考えたい。

中村産業振興課長

青の山はたくさんの方々が高キングや朝夕の散策などで利用している。なかでも桜の季節には、雑誌などにも取り上げられるほど山頂の桜



枠が壊れかかった案内板



藍川 佳津樹 議員

企業誘致条例

企業誘致条例改正案の

再提案はあるか

再提案は時期を見定めて／町長

問 ビブレの閉鎖が来年2

月に決まり、新都市の活性化に陰りが出るのは必定。

現在「新都市活性化の調査業務」が委託されているが、

町は次の手を目に見える形で示すことが喫緊の課題と

なった。その手立ての一つとして昨年12月に議会に出

された企業誘致条例を総合的に見直しての再提案する

べきではないか。

谷川町長

昨年12月定例会

で提案した企業誘致条例改正案は、今年3月定例会ま

での継続審査と議決されたが、その後委員会は開催さ

れず、廃案になった経緯がある。これまでの議論や経

緯を踏まえると、再提案については時間を置くべきと

感じているが、今後その時期を見定めていきたいと考えている。

町職員の組織強化

町職員の組織強化策について

職員研修も積極的に／事務統括監

採用条件などの検討も／町長



問

来年の4月に7名の幹部職員が退職する。この時

が来ることは前町長時代から指摘してきたが、この人材育成も喫緊の課題と言わ

ざるを得ない。いま、庁舎の耐震化について検討が始

まったが、この際、人事の耐震化も急を要するのでは

ないか。

谷川事務統括監

今年度か

ら4年間で14人の課長級職員の退職が予定され、幹部

職員の育成は喫緊の課題であると認識している。そのため、新たに一般行政職においては民間企業で身につけた経験を行政に役立ててもらいたいという趣旨から民間企業等経験者採用を年齢上限40歳として募集した。また、職員の研修についても積極的に参加するよう働きかけている。

再質問

現職員の能力向上

が重要だが、新規職員の採用枠を広げて、年齢、管理職経験者などの実績を考慮

した採用条件を検討してはどうか。

谷川町長

民間経験者の採用

用年齢や他の採用方法など、今後協議、検討していきたい。



井原 猛雄 議員

子どもの医療費無料化

中学校までの医療費無料化について

中学校卒業まで拡大したい／町長

問 子育て支援の充実で、

父母の要求運動と地方議会での論戦で、全国の自治体で子どもの医療費無料化が進んでいる。2011年4月現在で、入院で中学校卒業までの無料化が過半数の51.6%にのぼった。子どもの医療費無料化実施の自治体では、78%超が入院・通院費用の窓口での支払いをゼロにしている。

谷川町長、宇多津町でも中学校までの医療費の無料化実現についてお願いしたい。

谷川町長 町では現在まで

に、小学校3年生までの通院、入院に対し助成を拡大してきた。この施策は、少子化対策はもとより定住支援対策、子育て支援対策などに繋がるものと考え実施

している。今後の医療費無料化の拡大については中学校卒業まで一気に拡大をしたいとの思いがあり、いろいろな調査、研究をしている。



元気に登校する中学生

議会報告会を開催します

第3回宇多津町議会報告会

宇多津町議会では、議会活性化の取り組みの1つとして、平成21年より「議会報告会」を開催しています。

今回も、町民の皆様に議会活動を知って頂き、皆様からのご意見をお聞きます。ぜひ、ふるってご参加ください。

と き 平成25年11月8日（金）PM7時～

と ころ 保健センター4階 会議室



西本 祐子 議員

墓地公苑の管理

「はなの森墓地公苑」の
管理料を徴収しては

まずは墓地の台帳整備を／住民生活課長

問 本町では永代使用料を払えば、墓地は無期限に使用できる。墓地の管理には草刈、掃除など費用がかかるが、全て公費（税金）負担。寺社など民間墓地を利用する人も多いので公平性を考慮し、ある程度の受益者負担で、少しでも管理料を取るべきではないか。

な森墓地だけを徴収するのは公平性の問題があると思う。町には十楽寺墓地と宇夫階墓地の古い墓地があり、これらの墓石には台帳がないものもあるため、まずは台帳の整備、管理をしていきたい。

藤原住民生活課長 町では

現在すぐに管理料を徴収するという考えはないが、他市町の動向や費用負担の議論を深め、導入については今後の検討課題としていきたい。また、徴収する場合、は

再質問 管理料を徴収すること

で無縁墳墓の対応もスムーズに行くと思われるが。

藤原住民生活課長 まずは

墓地の台帳整備が第一だと考えている。これにはおそらく数年かかるので計画を立てて整備していきたい。

庭園灯破壊防止

遊歩道の庭園灯破壊を防ぐ対策を

被害届、情報提供のお願い、
防犯カメラ設置も検討中／事業統括監



遊歩道で足元を照らす庭園灯

問 宇多津北小学校周辺（浜八番丁～九番丁）の遊歩道の庭園灯が頻繁に破壊されている。建設課の資料によれば平成23年には年間21個、24年には19個、今年に入ってから既に30個以上破壊されている。何か対策はとられたのか。また、防犯カメラの設置はしないのか。

北本事業統括監 破損事件

の対応として、警察に器物破損で被害届を提出してい

る。同時に、現場には看板などを設置して情報提供のお願いをしているが、犯人の特定には至っていない。防犯カメラ設置については現在検討中である。宇多津北小学校周辺の歩道は全長1800メートルあり、全体を監視するためには多くのカメラの設置を必要とするが、多額の経費を要する。そのため、まずは主要ポイントでの設置を考えている。



濱中 保夫 議員

放課後児童保育

放課後児童保育について

4年生までの受け入れを準備中
時間延長は現状維持／生涯学習課長

問 国は、2015年4月

から実施に向けて、新たな

子育て支援策の具体化を図

る作業を進めている。平成

27年までに、小学校6年生

まで延長するのであれば、

26年度からの前倒しでの実

施は可能か。18時以降の有

料での延長は、可能か。

宮本生涯学習課長

現在は

小学校1年生から3年生ま

でを受け入れているが、4

年生までの受け入れについ

ては準備を進めている。6

年生までの延長については

現段階では考えていない。

18時以降の時間延長につい

ては、親への聞き取り調査

によれば大半の方が現状で

いいと言ってくれている。

現在でも必要があれば親の

連絡により19時前まで見て

いる。正式な時間の延長は

今のところ予定していない。

再質問 これからも公設公

営でいくのか。

宮本生涯学習課長

教育委

員会では公設を考えている

が、現在民間でも何箇所か

あるため、条件によって選

んでももらえば良いと考え

ている。



放課後児童クラブの子どもたち

学校給食

給食の異物混入について

異物混入を徹底して確認
非常食も用意／生涯学習課長

問 丸亀市では、昨年4月

以降学校給食センターが調

理した給食で5件、保育所

で調理した給食で3件の異

物混入事故が発生している

が、町では、どのような方

法で検査をしているのか。

もし異物が入った場合は、

主食、副食の対応はどのよ

うになっているのか。

宮本生涯学習課長

現在の

異物混入対策は目視と触手

によって混入物がないか徹

底して確認している。異物

が混入した際、金属やガラ

ス類などの危険物である場

合は、直ちに給食をストッ

プするようにしている。そ

の時に、非常食用ビスケッ

ト、レトルト食品などを給

食として利用できるように

用意している。また、アレ

ルギー食も30人分用意して

いる。

再質問

主食や副食の賞味

期限があると思うが、どの

ように切り替えを行うのか。

宮本生涯学習課長

主に3

年ごとの入れ替えが必要で

あるので、防災の日などに

給食の一部として生徒に食

べてもらいたいと考えてい

る。

始まりました！鴨田川改修

鴨田川は、丸亀市飯野町を源流とし流路延長約4.5km流域面積3.6km²であり、昭和43年～48年にかけて農業用水路として整備されました。しかし、国道11号線及び高松自動車道の整備により、上流域の水路整備が進み、下流である鴨田川への流水の到達時間が短くなり、大雨時には度々氾濫し道路冠水が発生するようになりました。

そこで、鴨田川の再整備が必要不可欠となり、平成2年3月31日に香川県管理の2級河川に指定され改修整備することが決定されました。指定区間は、下流端が大東川との合流点、上流端は鍋谷とし、延長2,289mとなりました。

平成3年に概略設計に着手、平成4年には第1回目の河川改修説明会が田町大門地区で開催され、平成5年から平面縦横断面測量を実施し、平成7年には計画断面の説明と境界立会測量をお願いしました。以降、5回の地元説明会が開

催されています。（平成8年2月・平成11年9月・平成12年7月・平成13年3月・平成13年8月）

現段階での整備計画は延長1,040m、概算全体事業費約26億円。川幅は14.6mとなり、断面は現況の5.56倍の川となります。

さて、現在までの用地買収進捗状況ですが、平成25年8月末で1工区の地権者35名の内、29名において用地買収契約済で、今後とも鋭意用地買収を進めていきます。

また、改修工事としては平成20年右岸側の側溝を施工しましたが、今年5月から本格的に改修工事が始まりました。

今年度は若宮橋の左岸側（西側）の橋台と旧町内からの既設排水管が施行されました。来年度は若宮橋の右岸側（東側）の橋台と西側護岸を施工予定ですが、西側護岸を工事し通水断面を確保した上で、橋台を造ります。

平成27年には若宮橋の上部工として床版橋を乗せ、通行ができる予定です。

その後も引き続き買収済みの箇所から改修工事に入る見込みです。



「宇多津北小学校 床の改修」

宇多津北小学校ができてから20年以上が経ち、増築の他、雨漏りなどの補修や図書室の改修などがなされてきました。

今回は、校舎1階の教室と廊下のカーペット張りの床を、フローリング材に改修しました。

特に教室部分は長年の使用で絵の具や墨汁の染みが目立ち、カーペットでは細かいゴミの掃除もしにくく、衛生上も問題がありました。

今回の改修で1階廊下と教室部分が木目調の床材に代わり、清潔感あふれる明るい床になりました。子どもたちにも「明るくなった」と好評です。



改修前



改修後

「議会だより」が変わります！



「議会だより」は2002年から発行され、今回で48号を迎えました。今までも少しずつ改善してきましたが、今回は思い切ってページ数を増やし、各議員の一般質問を一人1ページとするなど、見やすくなりました。

また、特集記事も充実させ、皆様に興味を持って頂けるよう、工夫しています。

今後とも、皆様に読んでいただけるように、努力してまいります。

乞う、ご期待！！

※今回の特集記事「鴨田川改修」「大松杯」「北小の床改修」

視察研修報告

徳島県勝浦町 かつらちよう

通年の会期（マラソン議会）

8月8日（木）徳島県勝浦郡勝浦町の視察研修を行いました。

この町は、徳島県庁から南へ約30分ほど、四国八十八か所霊場第20番札所の鶴林寺があり、春には100段の雛段に飾られた「ビッグひな祭」でも知られている町です。

今年3月の定例会では地方自治法改正によって、次のような条例を定めました。

一 定例会・臨時会の区分を設けないこと。



二 議会の臨時会の招集請求に対して町長が招集しないときは、議長が臨時会を招集することができる。

三 本会議においても、公聴会を開き、調査又は審査のために必要があると認めるときには、参考人の出頭を求め、意見を聴くことが出来る。

この条例の制定によって、四国で初めてとなる議会の「通年の会期」を導入することになりました。したがって、従来の「議会の定例会を定める条例」を廃止し、新たに「議会の会期等を定める条例」を制定しました。

加えて「議会議規則」を全部改正し、「議会委員会条例」の一部も改正しました。これにより、毎年7月10日から翌年7月9日までの1年間を会期としています。このような議会を通称「通年の会期」と言いますが、勝浦町では「マラソン議会」と呼ばれています。

「通年の会期」のため、定例日以外でも災害などの緊急時には、議長判断でいつでも会議を開くことができ、1年中いつでも会期となります。

勝浦町は議員定数が10人と少ないことから、2つの常任委員会での少人数体制の弊害をなくすため、常任委員会を廃止し、実質的に全員参加の本会議で議案を審議しています。

また、一年間の定例日を定めることによって、町内における行事等も計画が立てやすくなり、議会の傍聴に一人でも多くの方が参加してくれることを期待しているそうです。

この「通年の会期」と「本会議主義」の導入については、他の市町村議会でも話題になっており、多くの地方議会から視察に訪れています。

宇多津町議会でも、各地方の実情を考慮しながら議会運営上の問題、執行部との協議を重ね、個々の問題等を解決する必要を痛感しました。

おいでました

琴浦町（鳥取県）8名

8月22日（金）

●町の概要●

鳥取県のほぼ中央に位置し、南部は秀峰大山から連なる山地に囲まれ、牛乳・乳製品・二十世紀梨の特産品があります。また、北部は日本海に面しているので、漁業・商工業が盛んです。平成16年9月に、東伯町と赤碕町が合併して誕生しました。町名はかつて海岸一帯が「琴ノ浦」と呼ばれていたことに由来します。

面積 139.92km²
人口 18,683人
世帯数 6,443世帯

●視察内容●

○議会活動の概要
議会基本条例の経過及び取り組み状況

○休日議会の実施について

○議会主催の住民懇談会・議会報告会について





第20回 大松杯バレーボール大会 特別参加チーム紹介



チーム名

- ①練習時間
- ②練習場所
- ③チームのPR

北陸代表(富山県)

「杏」

- ①2時間×週3回
- ②高校の体育館
- ③富山も海の幸が豊富で、パワーの源。エネルギッシュなコンビバレーのチーム。

東北代表(青森県)

「うみねこレディース」

- ①2時間×週2回
- ②小学校体育館
- ③勝っても負けても、みんなでおいしいお酒を飲む酒豪ぞろい。楽しいチーム。

九州代表(大分県)

「別府鶴見クラブ」

- ①2時間×週2回
- ②小学校・中学校の体育館
- ③とにかくにぎやか。町内の夏祭りの売上金(品数が豊富)でユニフォームを購入するしっかりママさん。

関東代表(千葉県)

「かつしかクラブ」

- ①2時間×週2回
- ②市内中学校体育館
- ③とびきり元気よく、団結力もあるチーム。メンバーが新旧交代しても全国大会に出場。

関西代表(大阪府)

「堀川クラブ」

- ①3時間×週1回
- ②小学校体育館
- ③「明るく、楽しく、強く」をモットーに家族ぐるみでプレー。セッターは大松監督の教え子。

中部代表(愛知県)

「豊中」

- ①2時間×週2回+休日半日
- ②数か所の体育館
- ③創立39年で悲願の全国大会へ。車の町豊田市の力を発揮し、支え合うプレー。



第20回大松杯バレーボール大会

9月に「2020年東京オリンピック」が決まり、オリンピックへの気運が高まっています。

10月13日に開催された「第20回大松杯」には、中四国だけでなく東北から九州までのママさんバレーボールチーム(全16チーム)が出場しました。前回の東京オリンピックで「東洋の魔女」を育てた故大松博文氏(本町の名誉町民)の偉業を称えるのにふさわしい盛り上がりを見せました。

今回の優勝は「豊中」(愛知県)、準優勝は地元「宇多津体協」でした。

また町民あがての「お・も・て・な・し」で、参加者からはたくさんの感謝の言葉が寄せられました。本誌では、第20回記念大会のため、遠方から参加されたチームの紹介をします。

元 気 な な か ま ぐ る ー ぷ 紹 介

「はぐはぐの広場」はぐはぐランドうたづ



バルーンで遊ぶ子どもたち

「はぐはぐランドうたづ」は未就園の親子を対象にした「つどいの広場」です。毎週月・火・木の3日間、10時から15時まで、宇多津駅西隣りのサポートセンターで開設しています。初めて来られた方は、明るく開放的で清潔感あふれる施設と、こんなに赤ちゃんがいっぱいいることに、びっくりされます。

晴れの日も雨の日も、赤ちゃんをおんぶしたり、ベビーカーに乘せたりして、たくさんママたちが集まっています。駐車場が整備されていることや駅から近いことで、電車を利用して、坂出、丸亀、善通寺などから訪れる方もあり、1日平均53組の方が利用されています。毎年利用者も増え、昨年は約600組

の親子が登録しました。

写真は「ママとベア体操」で子どもたちにとっても人気のある、バルーンで遊んでいる様子です。保育園や幼稚園の運動会の集団演技でよく見かけるバルーンですが、「はぐはぐ」の小さな子どもたちも大きなピンクのバルーンが大好きです。大きな山にしたり、大波のように動かしたり、ボールをコロコロ転がしたり、下に隠れたり…。いろいろな遊び方のできるバルーンに、子どもたちもママたちも魅了されています。

この他にも「ママとベビのヨガタイム」や「母と子のわらべうた」などの催しは親子で触れ合えて、ゆったりと遊べるので人気があります。小さい頃に「みんなで一緒に遊ぶと楽しい」という経験をすることによって、初めての集団生活にも戸惑いが少なくなり、幼稚園に入園して親と離れても泣く子が少なくなったと聞きました。

これから地域の中で、育児が孤独にならないように、つながる支援を継続していきます。



主な議会活動

8月

21日 第2回臨時会
琴浦町（島根県）視察来庁
人権同和推進協議会
6日 広報特別委員会
8日 勝浦町（徳島県）視察
22日 議会運営委員会・議員懇談会

9月

1日 近県剣道大会
4日 議会運営委員会・議員懇談会
5日 広報編集会議
8日 全県協議会
10日 関西宇多津会総会
11日 第3回定例会 本会議
12日 一般質問
13日 一般質問
17日 総務民生建設教育合同委員会
18日 建設教育常任委員会
19日 全県協議会 本会議
21日 講演会（中川恵一氏）
22日 グラウンドゴルフ大会
29日 桜イルミネーション点灯式

10月

1日 定例議員総会・議員懇談会
5日 幼稚園・保育園運動会
7日 ハイフォン市政府訪問団来町
12日 中央保育所運動会
17日 大松杯開会式・交流会
17日 大松杯バレーボール大会
17日 決算委員会
30日 宇多津中学校文化祭
30日 川越町（三重県）視察来庁
30日 本宮市（福島県）視察来庁

編集後記

猛暑の夏が過ぎ、スポーツや読書や行楽に最適な季節となりました。

9月には2020年東京オリンピックの開催が決まりました。1964年以来56年ぶりの開催です。私は当時、中学校1年生でした。今でも有名な選手の名前はすぐに出てきます。戦後初めての国を挙げての大イベントで、新幹線やテレビの普及もあり、社会が大きく変わりました。

今度は私はシルバー年代として迎えますが、どのような効果と社会現象を生むのか楽しみです。当分、東京の一極集中は続きそうです。

（D・K）

議会広報特別委員会
委員長 西本 祐子
副委員長 柴村 賢三
委員 大松喜次郎
委員 宮本 隆
委員 濱中 保夫